学術論文 2012～2015 (有審査論文を掲載)

川村國夫 研究員・教授

2014年

1. 川村國夫、他：

“能登半島地震による「のと里山海道（旧能登有料道路）」崩壊盛土の特徴と盛土内地下水位の推定に関する提案 —山岳・丘陵部道路盛土の地震時安定—” 地盤工学ジャーナル、地盤工学会（投稿中）

H19.3.25 能登半島地震では、第一次緊急輸送道路である能登有料道路の盛土が 11 か所にて大規模に崩壊した。この崩壊状況は崩土の顕著な流動化と片盛土や腹付盛り土部にて発生していた。この特徴を現場調査と 3 次元解析から解明し、既存盛土の安定性が評価できた。さらに、今後の盛土内地下水位の簡便推定法にも言及し、実務への適用を提案した。

2013年

1. 宮本義弘、川村國夫、他：

“前例を生かし水抜きポーリングを駆使して未固結砂質地山を掘る”、トンネルと地下、Vol. 44, No. 5, pp. 17-25, 日本トンネル技術協会誌、2013. 5

(平成 24 年度地盤工学会北陸支部技術開発賞受賞)

土砂トンネル、とりわけ、未固結砂質地盤に対するこれまでのトンネル掘削の失敗例に基づき、石川県清水田島トンネル掘削を成功に導いた留意点と具体的評価法についての報告。

2. 西野尚志、川村國夫、他：

“2008. 7 浅野川豪雨災害に基づく斜面崩壊ハザードマップと今後の防災課題に関する提案”、地盤工学ジャーナル、Vol. 8, No. 2, pp. 311-328, 地盤工学会、2013. 5

(H25 年度地盤工学会北陸支部論文賞受賞)

2008.7.28 金沢市浅野川豪雨災害の実態とその対応の遅れに対する原因究明および現行の土砂災害対策法の限界を示す具体的な土砂崩壊実態について究明する。

著書

2009年

1. 川村國夫、他(共著)：

“地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために—地盤工学からの提案—”, 2009 地盤工学会, (H22 年度地盤工学会学会賞企画賞受賞)

特許 2012～2015

なし

国際会議及びシンポジウム等 2012～2015

1. 澤山雅則、川村國夫：

“H25.11 降雨による道路沿い斜面の崩壊メカニズムと今後の管理に関する提案”，

平成 26 年度地盤工学会実務者報告シンポジウム集, pp. 1 - 8, 地盤工学会 H27.1.31

H25.11 の長雨にて国交省管理道路 3 か所にて斜面崩壊発生。この崩壊メカニズムの解明と緊急および本復旧対策の決定法を述べる。加えて、今後の道路管理あり方について、とくに、斜面表面水の排水路配置の重要性とあり方を提案した。

新聞・報道等 2012～2015

2014 年

1. 北陸放送 MRO: 「レオスタ」金沢市内がけ崩れ危険箇所 H26.6.24
2. 北陸朝日放送 HAB: 「J チャンネル」広島市土砂災害から石川県土砂災害を考える, H26.8.22
3. NHK 金沢放送局: 「かがのとイブニング」石川県土砂災害対策連絡会委員長インタビュー, H26.10.7
4. 北陸放送 MRO: 「レオスタ」石川県土砂災害対策連絡会委員長談話, H26.10.7
5. 北國新聞: 「土砂災害被害抑制を学ぶー石川 10 市担当課長会議」, H26.10.4
6. 中日新聞: 「広島土砂災害教訓生かせー金沢工大教授県内防災課長会議で講演」, H26.20.4
7. 北國新聞: 「土砂災害の地域ニーズー石川県土砂災害対策連絡会ー」, H26.20.4

講演会 2013～2015

2014 年

1. 招待講演: 土砂災害の減災対策と避難情報発令、平成 26 年度石川県内 11 市防災担当課長会議講演会, H26.10.3、金沢市
2. 招待講演: 東日本大震災その後の鳴り砂（鳴き砂）海岸、(一社)北陸地域づくり協会（旧建設弘済会）事業報告講演会, H26.10.27
3. 招待講演: H19 能登半島地震発生後の輪島市門前町の鳴り砂（鳴き砂）: 平成 26 年度輪島市青年商工会議所講演会, H26.11.15

2013 年

1. 招待講演: 能越道高盛土施工に関する課題とその対応について、平成 25 年度北陸技術フォーラム、北陸地質調査業協会、2013.11
2. 招待講演: 石川県における土砂災害発生と降雨特性、国交省防災技術セミナー、2013.12
3. 招待講演: 石川の地盤と液状化、金沢気象台研修会、2013.12